

## 開校準備だより

こんねんど  
今年度もよろしくお願ひします

れいわねんど  
令和7年度がスタートしました。美保中学校区の保育園、小学校、中学校も新しいメンバーを迎え、元気にスタートしました。  
ぎむきょういくがっこうせいびじぎょう  
義務教育学校整備事業もこども政策課が中心となり、全庁を挙げて事業の進捗に取り組んで参りますので、今年度も皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

じぎょう  
事業の進捗状況ぞうせいせっけい  
造成設計

れいわねんどまつ  
令和6年度末に完了しました。  
ようちゅうどく  
用地取得が完了しました。  
かんりょう  
したら、造成工事に着手します。

のうちでんよう  
農地転用・開発許可

れいわねんがつ  
令和7年2月に許可申請を行いました。  
れいわねんがつ  
いずれも令和7年4月に許可をいただきましたので、  
こんごよううちしゅとく  
今後用地取得に進みます。

けんちくせっけい  
建築設計

けんちくきほんせっけい  
建築基本設計が令和6年度  
まつ  
末に完了し、今年度は令和8  
ねんど  
年に行う建築実施設計の  
じゅんび  
準備を進めています。

ぎむきょういくがっこうせいびじぎょう  
義務教育学校整備事業～これまでの経緯～

さくねんどじっし  
昨年度実施しました説明会やアンケート等で、これまでの経緯についてのご質問をいただきました。  
せつめいかい  
ことありました。今月号から数回に渡って振り返っていきたいと思います。

## なぜ、義務教育学校を設置することになったの？～きっかけ～

れいわがんねんど  
令和元年度の時点で、令和8年度  
わだしよう  
に和田小が、令和9年度に大篠津  
しょうふくしきがっこう  
小が複式学級になることが予見さ  
れました。このことを受けて、令和2  
ねんがつ  
年2月に美保中学校区のまちづく  
こんだんかい  
り懇談会を開催し、まちづくり、学校  
いきんうかが  
づくりについてご意見を伺いました。

ちいき  
○地域からのご要望で、令和2年度に保護者説明会を  
かいかいさい  
7回開催しました。

ほごしゃみな  
○保護者の皆さんからのご意見を地域へ報告したところ、「地域の声に耳を傾けつつ、今後の美保中  
がっこうくがっこう  
学校区の学校のあり方について校区審議会を開催して検討すべき」というご意見をいただきました。

けいい  
○こうした経緯を経て、令和3年4月に校区審議会を  
せっち  
設置するに至ったところです。

## 基本設計報告会について

3月に、基本設計の報告会を開催しました。報告会では、グラウンドの整備や3階までの吹き抜けとしているメディアセンターについてたくさん質問をいただきました。

開催日  
令和7年3月12日(水)  
令和7年3月13日(木)  
令和7年3月15日(土)  
参加者  
26人

「グラウンドは開校してからの整備になるのですか？」

「どうして校舎と一緒に整備ができないのですか？」

令和13年4月開校に向けたスケジュールでお示ししているとおり、開校年度の整備になります。

グラウンドに建築資材を置いたり、建物が完成した後に外構を整えたりするため、並行しての工事が難しい状況です。

「すべてが完成してからの開校にすればいいのではないですか？」

「グラウンドが完成するまで、体育や部活動はどうするのですか？」

全てが整ってから開校するというのも一つの考え方ではありますが、少しでも早く子どもたちを新しい学校で学ばせたいと考えています。  
また、大きい事業ですので、国の財源を活用しながら進めていきます。この負担金は、開校年度とその前3年度が交付対象というきまりがあるため、令和13年4月開校というスケジュールとなります。

跡地活用との兼ね合いもありますが、完成するまでの間は、現崎津小や現美保中のグラウンドの活用も選択肢の一つとなり得ると思います。安全面も考慮しながら、今後検討を進めていきます。

令和7年2月にお示ししたスケジュールです。

令和13年4月

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度
造成工事				造成工事						
建築設計 (基本・実施)		建築基本設計		建築実施設計						
建築工事				国庫負担金等 の手続	建築工事一式					
グラウンド整備				グラウンド 設計	グラウンド 工事					

「吹き抜けだと、暑かったり寒かったりしませんか？」

利用者が実際に過ごすエリアを集中的、効率的に冷暖房していく居住域空調という考え方で、床面から送風する「床吹き出し空調」とします。利用者が安全に快適に過ごせるように計画しています。

